

Course number		U-LAS07 10005 LJ31					
Course title (and course title in English)		日本社会論 Introduction to Japanese Society		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,KIMURA JUN	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Understanding Japan	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
Year/semesters		2025・Second semester		Number of credits		2	
Days and periods		Thu.4		Target year		1st year students	
Eligible students		International students					
[Overview and purpose of the course]							
<p>この講義では、日本社会の成り立ちから各時代を通じて、社会がどのように変化してきたのかについて、要点を抑えながら把握する。また、社会の変化をいくつかの転換点で捉え、特に近・現代社会を切り開く“近代化”が果たした役割やその移行の過程で起こった出来事について学ぶ。そのうえで、現代社会の新たな局面であらわれた「リスク」や加速する「個人化」という観点から、現代日本社会が直面する諸問題について考察する。</p>							
[Course objectives]							
<p>1. 日本社会の構造や制度について、社会変動の転換点を踏まえながら、過去から現在にわたって理解する。</p> <p>2. 上記で学ぶ事柄が、現代日本社会の意識構造の基盤として、現代的諸問題をどのように形成し、影響を与えているのかについて理解する。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>第1回 講義のすすめかた</p> <p>第2回 日本社会の原風景：地理的条件と日本的特徴</p> <p>第3回 過去の日本社会：古代専制国家</p> <p>第4回 過去の日本社会：中世封建制</p> <p>第5回 過去の日本社会：近世封建制</p> <p>第6回 学生発表（出身国・出身地域との比較）、ディスカッション</p> <p>第7回 近代化による社会変容：明治期</p> <p>第8回 近代化による社会変容：大正期から第二次世界大戦後まで</p> <p>第9回 近代化による社会変容：高度経済成長から現代まで</p> <p>第10回 日本的集団主義：これまで語られてきたこと</p> <p>第11回 学生発表（出身国・出身地域との比較）、ディスカッション</p> <p>第12回 現代日本社会における問題：日本的働き方</p> <p>第13回 現代日本社会における問題：教育の現場はどうなっているのか？</p> <p>第14回 現代日本社会における問題：家族の形態はどのように変化したのか？</p> <p>第15回 講義の内容の振り返り、まとめ</p>							
<p>* 基本的に上記の順序で講義をすすめるが、講義の進捗状況により、順番や回数、講義内容を変更する場合がある。</p>							
Continue to 日本社会論(2)							

日本社会論(2)

[Course requirements]

日本語・日本文化研修生専用科目として開講する。

[Evaluation methods and policy]

口頭発表・ディスカッションへの参加度（30％）、および期末レポート（70％）。

[Textbooks]

Not used

適宜、プリント等を配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

富永健一 『日本の近代化と社会変動』（講談社学術文庫）ISBN:978-4061589520

小熊英一 『日本社会のしくみ』（講談社現代新書）ISBN:978-4065154298

高谷好一 『『世界単位日本』』（京都大学出版会）ISBN:978-4814000791

吉見俊哉 『ポスト戦後社会』（岩波新書）ISBN:978-4004310501

高野陽太郎 『「集団主義」という錯覚』（新曜社）ISBN:978-4788511156

[Study outside of class (preparation and review)]

講義内でも適宜指示するが、参考書をもとに予習・復習をしてください。

[Other information (office hours, etc.)]

講義終了後に随時受け付けます。